

【ご参考資料】

2015年3月5日

## 3月4日発表のブラジル政策金利の引き上げについて

### 政策金利を12.25%から12.75%に引き上げ

2015年3月4日（現地時間）、ブラジル中央銀行は金融政策決定会合において、政策金利を0.5%引き上げ、年率12.75%とすることを全会一致で決定しました。市場の予想通り4会合連続の利上げとなりました。同中銀は、今回の利上げはマクロ経済見通しとインフレ予測を勘案しての決定であるとしてしました。

1月のインフレ率は7.14%と2011年9月以来の高水準となり、同中銀の目標レンジの上限である6.5%を大きく上回りました。インフレ圧力が高まっている背景には、干ばつを受けて電気料金が引き上げられたことや、財政再建のために、燃料や輸入品などへの課税が強化されたことなどがあります。今回の利上げは、インフレ抑制のための措置と考えられますが、同中銀のエコノミスト調査で今年の成長率予想が-0.58%に下方修正されるなど、景気後退懸念のある中、同中銀は難しいかじ取りを迫られています。

### 市場は追加の利上げを予想

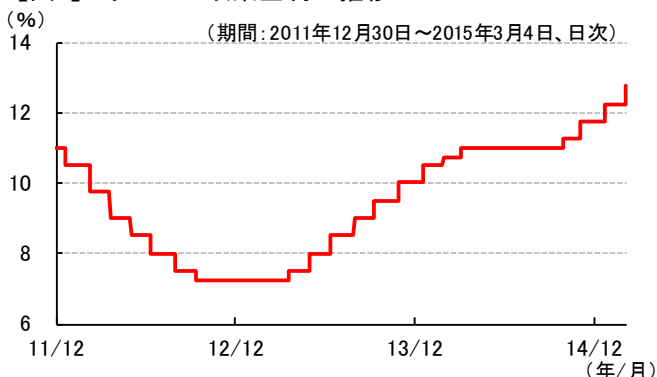
今回の声明文では、前回1月の会合に続き、今後の金融政策について示唆する表現はありませんでしたが、市場では、次回4月の会合でも追加の利上げが実施されるという見方が多いようです。

同中銀がインフレとたたかう姿勢を明確にしていることや、緩和的な金融政策が継続する主要国経済との金利差が拡大していることは、ブラジルレアルの下支え要因になると考えられます。また、今後のブラジルレアル相場を見る上では、3月末に期限を迎える通貨介入プログラムへの同中銀の対応も注目されます。

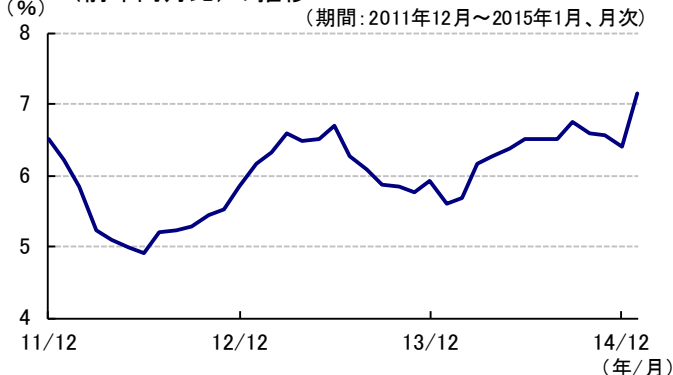
次回の金融政策決定会合は2015年4月28-29日（政策発表は日本時間4月30日）の予定です。

以上

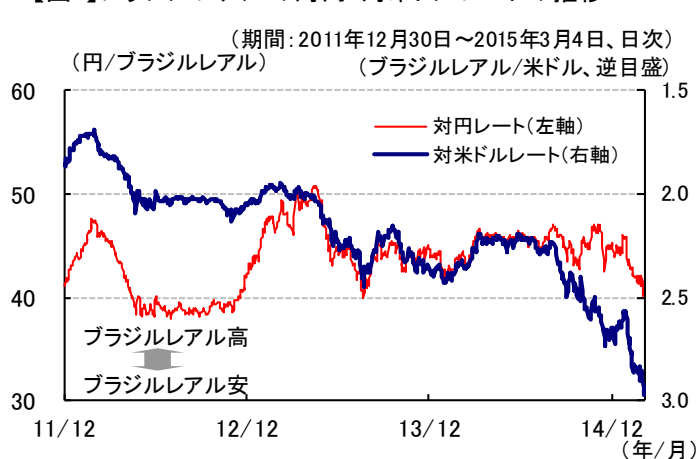
【図1】ブラジルの政策金利の推移



【図2】ブラジルのインフレ率（拡大消費者物価指数、IPCA）（前年同月比）の推移



【図3】ブラジルレアルの対円・対米ドルレートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成